

ドイツ語学ドイツ文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
ドイツ文学特論Ⅰ	ルーマニアのユダヤ系詩人たちによるホロコーストの詩的表象	2	藤田 恭子	前期 金曜日 3講時	
ドイツ文学特論Ⅱ	ドイツの散文作品を読む	2	藤田 恭子	後期 金曜日 3講時	
ドイツ文化学特論Ⅰ	ドイツ(語)文化圏としての中欧の文化と歴史 (6)	2	佐藤 雪野	前期 火曜日 5講時	
ドイツ文化学特論Ⅱ	ドイツ(語)文化圏としての中欧の文化と歴史 (7)	2	佐藤 雪野	後期 火曜日 5講時	
ドイツ文学研究演習Ⅰ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	前期 月曜日 4講時	
ドイツ文学研究演習Ⅱ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	後期 月曜日 4講時	
ドイツ語学研究演習Ⅰ	ドイツ語・ドイツ語圏文化講読	2	NARROG HEIKO	前期 火曜日 3講時	
ドイツ語学研究演習Ⅱ	ドイツ語・ドイツ語圏文化講読	2	NARROG HEIKO	後期 火曜日 3講時	

科目名：ドイツ文学特論 I / German Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LM15306, 科目ナンバリング：LGH-LIT608J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ルーマニアのユダヤ系詩人たちによるホロコーストの詩的表象
2. Course Title (授業題目)：Holocaust-Gedichte von Jüdischen Dichter*innen aus Rumänien
3. 授業の目的と概要： 詩のテキストを厳密に読み、凝縮された言語表現からイメージを膨らませる。その際、詩のテキスト解釈を補強するべく、詩人の他のテキストや二次文献を読む。背景知識としてルーマニアにおけるナチズム受容の歴史を知る。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In diesem Seminar wird durch die genaue Lektüre von Gedichten die Entwicklung von Bildern aus verdichteten sprachlichen Ausdrücken geübt. Dabei werden auch andere Texte der Dichter*innen sowie Sekundärliteratur eingesetzt, um ihre Gedichte überzeugender zu interpretieren. Als geschichtliche Hintergründe der Gedichte wird über die Geschichte des Nationalsozialismus in Rumänien informiert.
5. 学習の到達目標：ドイツ語による詩を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Kennenlernen der Methodologie, Gedichte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業は対面授業として行う。
事例として、オーストリア帝国領からルーマニア領となったブコヴィナ出身のユダヤ系詩人たちのテキストを取り上げる。彼らの自伝的エッセイや二次文献の一部も読み、そのうえで再度、詩のテキストを読み直す。

第1回 導入

第2回 ルーマニアにおけるドイツ語話者の歴史

第3回 ルーマニアにおけるナチズム

第4回 ホロコーストをテーマとする詩 (1)

第5回 ホロコーストをテーマとする詩 (2)

第6回 自伝的エッセイ (1)

第7回 自伝的エッセイ (2)

第8回 自伝的エッセイ (3)

第9回 二次文献 (1)

第10回 二次文献 (2)

第11回 二次文献 (3)

第12回 二次文献 (4)

第13回 ホロコーストをテーマとする詩 (3)

第14回 ホロコーストをテーマとする詩 (4)

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)

9. 教科書および参考書：

プリントを配付する。Texte werden im Voraus verteilt.

10. 授業時間外学習：事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehrkraft lautet kyoko.fujita.e5 (at) tohoku.ac.jp.

科目名：ドイツ文学特論Ⅱ／ German Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LM25305, 科目ナンバリング：LGH-LIT609J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目： ドイツの散文作品を読む
2. Course Title (授業題目) : Deutsche Prosa lesen
3. 授業の目的と概要： 散文テキストを読み、また著者の自伝的テキストや二次文献を読んで、多様な解釈の可能性を知る。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In dieser Klasse wird geübt, Prosatexte genau zu. Dabei werden auch autobiografische Texte der Schriftstellerin sowie Sekundärliteratur über sie eingesetzt, um die Texte überzeugender zu interpretieren..
5. 学習の到達目標：ドイツ語による散文を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Kennenlernen der Methodologie, Prosatexte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業は対面あるいはオンラインのリアルタイム授業として行う。
事例として、2009 年度ノーベル文学賞を受賞したヘルタ・ミュラー (Herta Müller, 1953-) のテキストを取り上げる。彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

- 第 1 回 導入
- 第 2 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (1)
- 第 3 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (2)
- 第 4 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (3)
- 第 5 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (4)
- 第 6 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (5)
- 第 7 回 ヘルタ・ミュラーの小説 “ (6)
- 第 8 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (7)
- 第 9 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (1)
- 第 10 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (2)
- 第 11 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (3)
- 第 12 回 二次文献 (1)
- 第 13 回 二次文献 (2)
- 第 14 回 二次文献 (3)
- 第 15 回 まとめ

8. 成績評価方法：
平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)

9. 教科書および参考書：
プリントを配付する。

Texte werden im Voraus verteilt.

10. 授業時間外学習： 事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。

教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehrkraft lautet kyoko.fujita.e5 (at) tohoku.ac.jp.

科目名：ドイツ文化学特論 I / German Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LM12505, 科目ナンバリング：LGH-LIT610J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (6)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (6)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほか、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. プラハの歴史
3. ボヘミアとドイツ人
4. プラハとユダヤ人
5. プラハのドイツ文学
6. レンカ・ライネロヴァーとプラハ
7. Mandelduft 1
8. Mandelduft 2
9. Mandelduft 3
10. Mandelduft 4
11. Mandelduft 5
12. Mandelduft 6
13. Mandelduft 7
14. Mandelduft 8
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the class. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文化学特論Ⅱ／ German Culture (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 火曜日 5講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LM22504, 科目ナンバリング：LGH-LIT611J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (7)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (7)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。

講義のほかに、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. エゴン・エルヴィン・キッシュとプラハ
3. ホロコーストとプラハ
4. Aus Prager Gassen und Nächten 1
5. Aus Prager Gassen und Nächten 2
6. Aus Prager Gassen und Nächten 3
7. Aus Prager Gassen und Nächten 4
8. Aus Prager Gassen und Nächten 5
9. Aus Prager Gassen und Nächten 6
10. Aus Prager Gassen und Nächten 7
11. Aus Prager Gassen und Nächten 8
12. Aus Prager Gassen und Nächten 9
13. Aus Prager Gassen und Nächten 10
14. Aus Prager Gassen und Nächten 11
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布。

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the classroom. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文学研究演習 I / German Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LM11404, 科目ナンバリング：LGH-LIT627J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2. Course Title (授業題目) : Medieval German literature

3. 授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかにも北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In diesem Seminar handelt es sich um die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur als Quelle der modernen Literatur und um ihre Eigenschaften.

In der modernen Literatur ist nicht selten die Liebe das Thema, aber die Liebe wurde erst im 12. Jahrhundert thematisiert, das Thema davor war am meisten das Christentum. Die literarische Liebe basierte sich aber auch auf dem Glauben an den Gott, die Liebe zwischen Menschen war also erhaben. Solche hohe Liebe wurde aber allmählich säkularisiert, indem die ritterliche Kultur verfiel und die bürgerliche Gesellschaft sich erhebe. In dem Seminar soll also auch berücksichtigt werden, dass die Teilnehmer sich mit der Kultur und Gesellschaft im Mittelalter vertraut machen und gelegentlich auch bessere Kenntnisse über den Zusammenhang mit der nordischen Legenden erwerben können.

5. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Ziel des Unterrichts ist, dass man die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur und deren Eigenschaften kennen lernt und Texte im Mittelhochdeutsch lesen und den Inhalt verstehen kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 中高ドイツ語入門 1 (発音)

3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)

4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)

5 中高ドイツ語文学講読 1 (1655-1656)

6 中高ドイツ語文学講読 2 (1657-1658)

7 中高ドイツ語文学講読 3 (1659-1661)

8 中高ドイツ語文学講読 4 (1662-1664)

9 中高ドイツ語文学講読 5 (1665-1667)

10 中高ドイツ語文学講読 6 (1668-1670)

11 中高ドイツ語文学講読 7 (1661-1664)

12 中高ドイツ語文学講読 8 (1665-1668)

13 中高ドイツ語文学講読 9 (1669-1672)

14 中高ドイツ語文学講読 10 (1673-1676)

15 中高ドイツ語文学講読 11 (1677-1680)

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

10. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：ドイツ文学研究演習Ⅱ／ German Literature (Advanced Seminar) II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LM21404, 科目ナンバリング：LGH-LIT628J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2. Course Title (授業題目) : Medieval German literature

3. 授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In diesem Seminar handelt es sich um die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur als Quelle der modernen Literatur und um ihre Eigenschaften.

In der modernen Literatur ist nicht selten die Liebe das Thema, aber die Liebe wurde erst im 12. Jahrhundert thematisiert, das Thema davor war am meisten das Christentum. Die literarische Liebe basierte sich aber auch auf dem Glauben an den Gott, die Liebe zwischen Menschen war also erhaben. Solche hohe Liebe wurde aber allmählich säkularisiert, indem die ritterliche Kultur verfiel und die bürgerliche Gesellschaft sich erhebe. In dem Seminar soll also auch berücksichtigt werden, dass die Teilnehmer sich mit der Kultur und Gesellschaft im Mittelalter vertraut machen und gelegentlich auch bessere Kenntnisse über den Zusammenhang mit der nordischen Legenden erwerben können.

5. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Ziel des Unterrichts ist, dass man die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur und deren Eigenschaften kennen lernt und Texte im Mittelhochdeutsch lesen und den Inhalt verstehen kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 中高ドイツ語入門 1 (発音)

3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)

4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)

5 中高ドイツ語文学講読 1 (1681-1682)

6 中高ドイツ語文学講読 2 (1683-1684)

7 中高ドイツ語文学講読 3 (1685-1687)

8 中高ドイツ語文学講読 4 (1688-1690)

9 中高ドイツ語文学講読 5 (1691-1693)

10 中高ドイツ語文学講読 6 (1694-1696)

11 中高ドイツ語文学講読 7 (1697-1700)

12 中高ドイツ語文学講読 8 (1701-1704)

13 中高ドイツ語文学講読 9 (1705-1708)

14 中高ドイツ語文学講読 10 (1709-1712)

15 中高ドイツ語文学講読 11 (1713-1716)

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

10. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：ドイツ語学研究演習 I / German Language (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LM12307, 科目ナンバリング：LGH-LIT629J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語・ドイツ語圏文化講読
2. Course Title (授業題目)：German Language and Culture (Advanced Seminar)
3. 授業の目的と概要：1) ドイツの雑誌（週刊誌）や近年の文学作品を読むことを通してドイツ語能力、ドイツ語圏文化の知識を身に着ける。
2) 雑誌記事または近年発表された文学作品を 3 週間当たり 1 作品（雑誌記事は 2 週間当たり 1 本）ぐらいのペースで読んでいく。
3) 適宜に発表・語りやディスカッションなど、他の言語活動も行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Improving German language skills and cultural knowledge through the reading of journal articles and literature.
2) Reading German pieces of literature in 3 weeks, and journal articles in 2 weeks.
3) Other elements of the class include narration, presentation, and discussion.
5. 学習の到達目標：語彙を増やし、各自が持っているドイツ語を読む能力を高める。
また、ドイツ語のコミュニケーション能力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Expand vocabulary and reading skills according to the texts read.
Expanding communicative skills through narration, presentation, and discussion.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
以下は、一例である。
 1. Lukas Bärfuss: Malinois
 2. Lukas Bärfuss: Malinois
 3. Lukas Bärfuss: Malinois
 4. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Land
 5. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Landl
 6. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Land
 7. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 8. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 9. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 10. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 11. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 12. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 13. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr
 14. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr
 15. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

8. 成績評価方法：

毎回の授業参加、課題、宿題（原則として毎回）に基づく。

9. 教科書および参考書：

上記の「授業内容」で掲載された書籍を教材とする

10. 授業時間外学習：授業の準備、宿題

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

本シラバスは、対面授業が行われることを前提に作成されている。

もし遠隔で行われることになった場合、それに合わせて授業内容と方法が変わる場合がある。

科目名：ドイツ語学研究演習Ⅱ／ German Language (Advanced Seminar) II

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LM22304, 科目ナンバリング：LGH-LIT630J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語・ドイツ語圏文化講読
2. Course Title (授業題目)：German Language and Culture (Advanced Seminar)
3. 授業の目的と概要：1) ドイツの雑誌(週刊誌)や近年の文学作品を読むことを通してドイツ語能力、ドイツ語圏文化の知識を身に着ける。
2) 雑誌記事または近年発表された文学作品を3週間当たり1作品ぐらいのペースで読んでいく。
3) 適宜に発表・語りやディスカッションなど、他の言語活動も行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Improving German language skills and cultural knowledge through the reading of journal articles and literature.
2) Reading German pieces of literature in 3 weeks, and journal articles in 2 weeks.
3) Other elements of the class include narration, presentation, and discussion.
5. 学習の到達目標：各自が持っているドイツ語の文学作品の読む能力を高める。
各自が持っているドイツ語のコミュニケーション能力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Expand vocabulary and reading skills according to the texts read.
Expanding communicative skills through narration, presentation, and discussion.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
以下は一例である。
 1. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 2. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 3. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 4. Gerhard Falkner: Schorfheide
 5. Gerhard Falkner: Schorfheide
 6. Gerhard Falkner: Schorfheide
 7. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 8. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 9. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 10. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 11. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 12. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 13. Norbert Scheuer: Winterbienen
 14. Norbert Scheuer: Winterbienen
 15. Norbert Scheuer: Winterbienen

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

8. 成績評価方法：
毎回の授業参加、課題、宿題(原則として毎回)に基づく。
9. 教科書および参考書：
上記の「授業内容」で掲載された書籍を教材とする
10. 授業時間外学習：授業の準備、宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：
本シラバスは、対面授業が行われることを前提に作成されている。
もし遠隔で行われることになった場合、それに合わせて授業内容と方法が変わる場合がある。